

○計画期間:平成30年4月～令和5年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点(令和2年3月31日時点)の中心市街地の概況

市は、平成30年4月以降、認定基本計画に基づき、「まちの魅力となるコンテンツの創出」と「まちの活力を支える居住者の確保」を基本方針として各事業を実施している。

<まちの魅力となるコンテンツの創出>

【柳ヶ瀬】

民間まちづくり会社及び地元商店街による定期マーケット「サンデービルディングマーケット」の開催に加え、空きビル再生のリノベーション事業「ロイヤル40」に続き、新たなリノベーション事業「サロン・ド・マルイチ」が令和元年8月にオープンした。この事業は、地元銀行が、MINTO 機構のマネジメント型まちづくりファンド支援業務を活用し設立した「じゅうろく・岐阜市まちづくりファンド（平成31年3月）」を活用しており、地域の金融機関との連携も進んできている。

また、市は、空き家や空きビルなどの遊休不動産と、人や文化、産業などの潜在的な地域資源を組み合わせ、民間主体の取り組みにより、まちの活性化や課題解決につながる「リノベーションまちづくり」を加速させるため、「リノベーションスクール事業」を本計画に追加（令和2年3月変更）した。

本事業は、まちの魅力となるコンテンツの源泉であるパブリックマインドを持った「人（＝担い手）」の育成、創出を図るものであり「第1回リノベーションスクール@岐阜」を令和元年8月に開催した。参加した受講生が新たなまちづくりの担い手となって、コミュニティの形成や、クラウドファンディングを活用した出店計画を進めるなどの動きにつながっている。

リノベーションスクールの事前レクチャー（2回開催）では定員100名ほどに対して、若い世代を中心に立ち見が出るほどの参加者が集まった。同時に、柳ヶ瀬の魅力を若い世代に伝えるタブロイド誌「WE WANT.」を作成し、事前レクチャーなどで配布したところ、カフェなどへの設置希望があり、柳ヶ瀬の新しいまちづくりの動きへの期待度の高さが伺えた。

市が全額出資している中間支援組織「一般財団法人岐阜市にぎわいまち公社」が行政と民間の間に入り調整することで、公民が円滑に連携し、本市におけるリノベーションまちづくりの取り組みが進んできている。

【つかさのまち】

「新庁舎建設事業」の工事が令和2年度完成に向け進捗している。隣接する、市立中

中央図書館を含む複合施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の年間来館者数は開館以来毎年 120 万人を超え堅調であり、新たな中心市街地の拠点となっている。

＜まちの活力を支える居住者の確保＞

中心市街地の民間住宅供給は、「高島屋南地区整備事業」が平成 31 年 3 月に工事を開始し、完成に向け進捗している。「まちなか居住支援事業」は、子育て世帯に対する助成額の拡充等を行い、まちなかへの居住推進を図っている。

また、「岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業」が平成 31 年 1 月に完成、「ライオンズ岐阜マークスフォート整備事業」は平成 31 年 3 月に完成し、どちらも分譲住宅は完売しており、その他にも進捗中の 3 件に加えて新たに 1 件の民間マンション建設（計約 330 戸）が中活計画期間中に建設される予定である等、中心市街地への民間投資が活発になってきていることから、さらなる居住人口の増加が期待される。

また、中心市街地全体に対し、新型コロナウイルスによる影響が大きいいため、今後の動向に注視する。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】 （基準日：毎年度 10 月 1 日）

（中心市街地 区域）	平成 29 年度 （計画前年度）	平成 30 年度 （1 年目）	令和元年度 （2 年目）	令和 2 年度 （3 年目）	令和 3 年度 （4 年目）	令和 4 年度 （5 年目）
人口	9,175 人	8,989 人	8,912 人			
人口増減数	△127 人	△165 人	△54			
自然増減数	△92 人	△94 人	△107			
社会増減数	△35 人	△71 人	53			
転入者数	391 人	393 人	510			

※「人口」は各年 10 月 1 日時点で算出、「人口増減数」は各月ごとの人口動態の累計として算出をしており、端数処理の回数の違いから、「人口の年度間の差」と「人口増減数」は必ずしも一致しない。

2. 令和元年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

ハード事業の工事など、掲載しているそれぞれの事業が進捗している。

また、民間が主体的に取り組んできたリノベーションまちづくりの動きを行政や金融機関が積極的に支援し、行政ではリノベーションスクールを開催するなど、公民が連携して活性化に取り組む姿勢は評価できる。

数値目標は現時点では未達成であるが、引き続き達成するために、令和 2 年 3 月に新たに追加した事業を含め、基本計画に掲載した事業を着実に実現するとともに、上記の新たな動きとも呼応し、中心市街地に関わる様々な関係者がベクトルを合わせて取り組むことが求められる。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
リノベーションを活用した新たな商業担い手の創出	創業数 [遊休不動産等を利活用した、まちの魅力となるコンテンツに資する新たな事業者の数] (柳ヶ瀬)	2 件 (H24~H28)	21 件 (H30~R4)	8 件 (H30~R1)	B	①	①
広域からも来訪したくなるような魅力の創出・発信による商業の振興	歩行者・自転車 通行量 [休日と平日の平均](中心市街地の21地点)	52,173 人/日 (H28)	53,600 人/日 (R4)	50,366 人/日 (R1)	C	①	①
	【補完】 柳ヶ瀬の入り込み客数 [1日平均]	11,676 人/日 (H28)	現状値よりプラスにする (R4)	11,852 人/日 (R1)			
都市機能誘導施設等の誘導、維持、利活用	都市機能誘導施設等 (公共施設)の年間利用者数	2,290,334 人/年 (H28)	2,694,000 人/年 (R4)	2,267,892 人/年 (R1)	C	①	①
民間活用による居住空間の確保	居住人口の人口動態 (中心市街地)	△273 人 (H25~H29の累計)	100 人 (H30~R4の累計)	△219 人 (H30~R1の累計)	B	①	①
まちの魅力となるコンテンツの創出 + まちの活力を支える居住者の確保	【補完】 地価 [中心市街地の商業地7地点の増減率の平均]	△2.4% (H25→H29の増減率)	プラスにする (H30→R4の増減率)	△0.4% (H30→R2の増減率)			

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

【創業数】

民間事業者によるリノベーション事業により、創業数が増加した。主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標達成は可能と見込んでいる。

今後、令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローや、今年度設置した「まちなか活性化活動拠点」によるまちづくりの担い手の育成・創出により、さらなる創業者の拡大を図る。

【歩行者・自転車通行量】

基準年（H28）に比べ、メディアコスモス周辺（H28：5,828人→R1：6,976人）や岐阜駅周辺（H28：10,104人→R1：12,224人）では増加となっているが、柳ヶ瀬（H28：27,171人→R1：22,586人）や玉宮・神田町（H28：9,070人→R1：8,580人）では減少となっている。

メディアコスモス周辺は、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の開館により、新たなにぎわいの拠点が形成され、岐阜駅周辺では、市街地再開発事業による商業施設や住宅の供給、駅前広場整備による歩行者の動線の整理による歩行環境の向上や、公共交通の乗り換えの利便性の向上、駅前広場を活用した多彩なイベントの開催などにより、にぎわいが創出されている。一方、柳ヶ瀬では、定期マーケット「サンデービルディングマーケット」による若い世代の来街や、民間のリノベーション事業によるまちの魅力となるコンテンツの創出がされているものの、イベント等がない平常時における来街にまでは至っておらず、最新値が基準値を下回ることとなった。

今後、「高島屋南地区整備事業」の完成や、令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローによる、まちの魅力となるコンテンツの創出により、さらなる来街者の増加を図る。

【都市機能誘導施設等（公共施設）の年間利用者数】

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の年間来館者数は、毎年120万人を超え堅調であるが、基準年に比べわずかに減少となり、最新値が基準値を下回ることとなった。

今後、「新庁舎建設事業」との相乗効果、及び「高島屋南地区整備事業」の完成により、目標達成は可能と見込む。

【居住人口の人口動態（中心市街地）】

令和元年度は再開発事業や民間マンションなどにより社会増減数はプラスとなったが、自然増減数のマイナスが上回ったため、人口動態はマイナスとなった。

累計の人口動態は、平成30年度が△165人、令和元年度が△54人であったため、△219人となった。

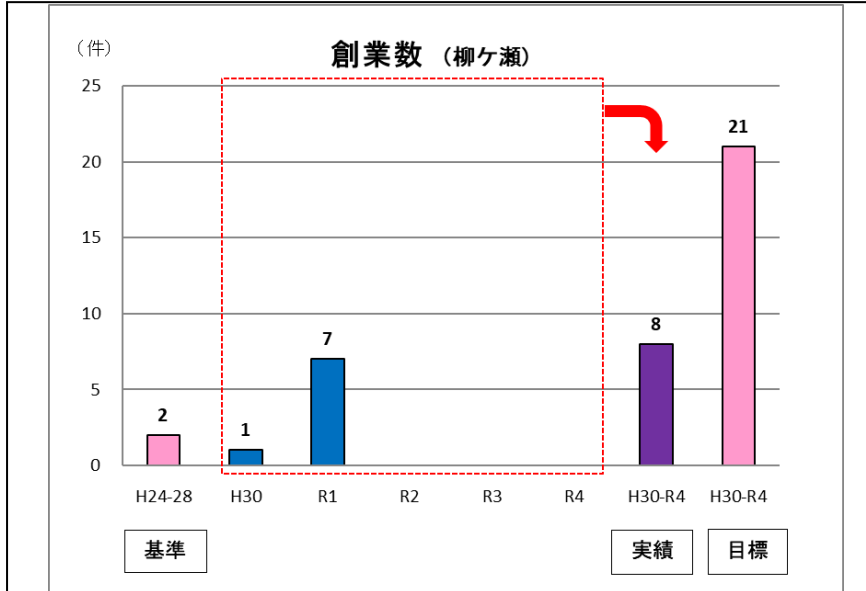
今後、「高島屋南地区整備事業」の完成に加え、新たに建設予定の民間マンションによる住宅供給により、目標達成は可能と見込む。

- 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由**
前回のフォローアップの見通しから変わっていない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「創業数〔遊休不動産等を利活用した、まちの魅力となるコンテンツに資する新たな事業者の数〕（柳ヶ瀬）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 59～P. 62 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H24- H28	2 (基準年値)
H30	1
R1	7
R2	
R3	
R4	
H30- R4	8 (実績値)
H30- R4	21 (目標値)

※調査方法：岐阜市にぎわいまち公社が、地元商店街や柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社等に対し、ヒアリング調査を実施

※調査月：3月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：柳ヶ瀬エリア内の新規出店店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 不動産のリノベーション及び貸し出し事業（柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まちなかの遊休不動産と呼ばれる建物を事業者のニーズやコンテンツに合わせて改修（リノベーション）し、貸し出す事業。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち先導的・実証的事業（経済産業省）（令和元年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	空きビル再生のリノベーション事業「ロイヤル40」に続き、令和元年8月には老舗喫茶店をリノベーションした「サロン・ド・マルイチ」が完成し、3件の創業があった。 【サロン・ド・マルイチ】 （1・2階）飲食、レンタルスペース （3階）デザイン事務所 （4・5階）シェアハウス 「サンデービルディングマーケット」、「不動産のリノベーショ

	ン及び貸し出し事業」、「空き店舗対策事業」により、総合的に創業者の創出に取り組み、目標達成を実現する。
事業の今後について	令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローを行うとともに、まちづくりの担い手の育成・創出により、さらなる創業者の拡大を図る。

②. 空き店舗対策事業（岐阜市）

事業実施期間	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗を減らし商店街の活性化を図るために、新規出店者に対し助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 19 年度～）
事業効果及び進捗状況	「空き店舗対策事業」の柳ヶ瀬区域内における令和元年度の助成実績は、4 件であった。 「サンデービルディングマーケット」、「不動産のリノベーション及び貸し出し事業」、「空き店舗対策事業」により、総合的に創業者の創出に取り組み、目標達成を実現する。
事業の今後について	引き続き事業を着実に進める。

③. サンデービルディングマーケット（岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	買い物客の創出、創業希望者の発掘を目的とした、手仕事（クラフト）の商品等を扱うお店を集めた定期イベントの開催。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	「サンデービルディングマーケット」を毎月第 3 日曜に開催しており、令和元年度は 11 回開催した。平均で約 150 店舗が出店、約 4,500 人が来場している。※新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年 3 月は中止 「サンデービルディングマーケット」、「不動産のリノベーション及び貸し出し事業」、「空き店舗対策事業」により、総合的に創業者の創出に取り組み、目標達成を実現する。
事業の今後について	引き続き事業を着実に進める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

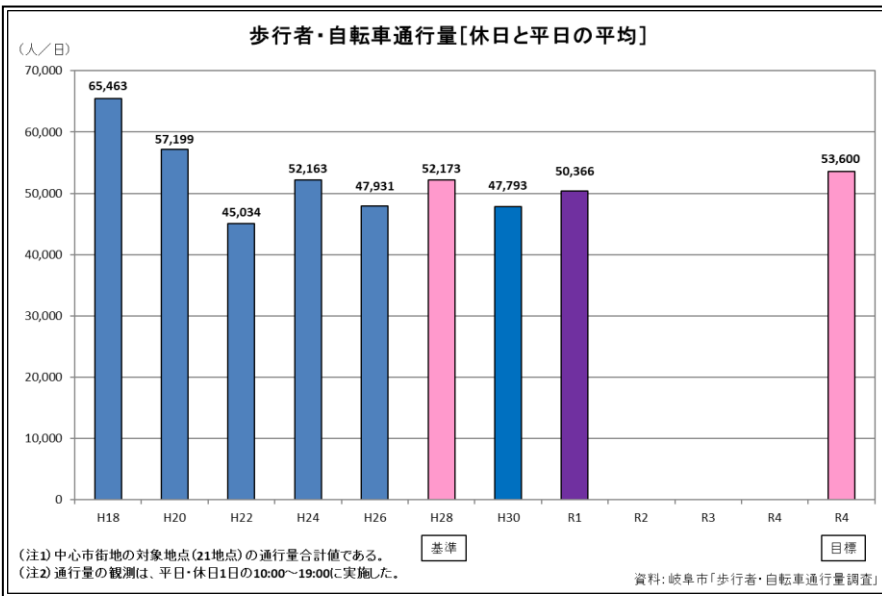
主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と見込んでいる。

「リノベーションスクール」を令和2年3月に計画に追加。令和元年8月に第1回を開催し、32名の受講生が参加した。今後はアフターフォローとして、受講生が提案した物件活用案の実現に向け、事業計画の進捗状況の確認及び助言を関係機関と連携して行うとともに、まちづくりの担い手の育成・創出により、さらなる創業者の拡大を図る。

また、今年度は、リノベーションを活用した担い手やまちに対するパブリックマインドを持った方などが集い・交流するための施設である「まちなか活性化活動拠点」を設置し、まちづくりの担い手の育成・創出により、さらなる創業者の拡大を図る。

「歩行者・自転車通行量 [休日と平日の平均] (中心市街地の 21 地点)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 63～P. 74 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H28	52,173 (基準年値)
H30	47,793
R1	50,366
R2	
R3	
R4	
R4	53,600 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査を中心市街地の対象地点（21 地点）において、平日 1 日・休日 1 日の 10:00～19:00 に実施。

※調査月：7 月、8 月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地の 21 地点（岐阜駅周辺、神田町・玉宮、柳ヶ瀬、メディアコスモス周辺）における歩行者及び自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 不動産のリノベーション及び貸し出し事業（柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まちなかの遊休不動産と呼ばれる建物を事業者のニーズやコンテンツに合わせて改修(リノベーション)し、貸し出す事業。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち先導的・実証的事業(経済産業省)(令和元年度～令和 4 年度)
事業効果及び進捗状況	空きビル再生のリノベーション事業「ロイヤル 40」に続き、令和元年 8 月には老舗喫茶店をリノベーションした「サロン・ド・マルイチ」が完成し、3 件の創業があった。 【サロン・ド・マルイチ】 (1・2 階) 飲食、レンタルスペース (3 階) デザイン事務所 (4・5 階) シェアハウス 令和 2 年度に実施する歩行者・自転車通行量調査にて効果を

	見込んでいる。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 3,494 人／日
事業の今後について	令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローを行うとともに、まちづくりの担い手を育成・創出し、まちの魅力となるコンテンツの創出により、さらなる来街者の増加を図る。

②. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区公共施設整備事業）（岐阜市）

事業実施期間	平成 24 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高島屋南地区第一種市街地再開発事業により整備する建物内に、公共施設として子育て支援施設、健康・運動施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	○中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和元年度～令和 4 年度） ○社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（岐阜市中央部地区））（国土交通省）（令和元年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	高島屋南地区第一種市街地再開発事業に合わせ、公共施設を整備する。令和元年度から令和 2 年度にかけて実施設計を行う。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 1,202 人／日
事業の今後について	高島屋南地区第一種市街地再開発事業の進捗に合わせ、事業を進める。

③. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区第一種市街地再開発事業）（市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 24 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	岐阜高島屋に隣接する地区で、住宅供給と共に、商業施設及び公益的施設の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成 24 年度～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度組合設立、平成 30 年度工事着手、令和 4 年度完成予定。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 1,319 人／日
事業の今後について	完成に向け、事業を着実に進める。

④. 岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業（市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	JR 岐阜駅と名鉄岐阜駅の中間の交通利便性を活かし、商業施設や住宅とともに福祉施設の整備を行う。

国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成 25 年度～平成 30 年度）
事業効果及び進 捗状況	平成 26 年度組合設立、平成 27 年度工事着手、平成 31 年 1 月 完成。分譲 12 戸完売。 令和元年度の歩行者・自転車通行量は、基準年に比べ、岐阜駅 周辺の 2 地点で約 2,000 人／日の増加があった。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 76 人／日
事業の今後につ いて	事業が完成したため終了。 1～2 階に商業施設、3～15 階に福祉施設、16～24 階に 106 戸 の住宅が入居する施設であり、利用者及び居住者による通行 量の増加が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標達成は可能と見込んでいる。

平成 30 年度に工事を開始した「高島屋南地区整備事業」を着実に進める。

また、「柳ヶ瀬の広報戦略事業」として、柳ヶ瀬の魅力を若い世代に伝えるタブロイド誌

「WE WANT.」を作成し、リノベーションスクールの事前レクチャー等で配布を行った。

今後も柳ヶ瀬エリアのイメージアップを図る。加え、令和元年度に開催した「リノベ-

ーションスクール」のアフターフォローとして、受講生が提案した物件活用案の実現に向

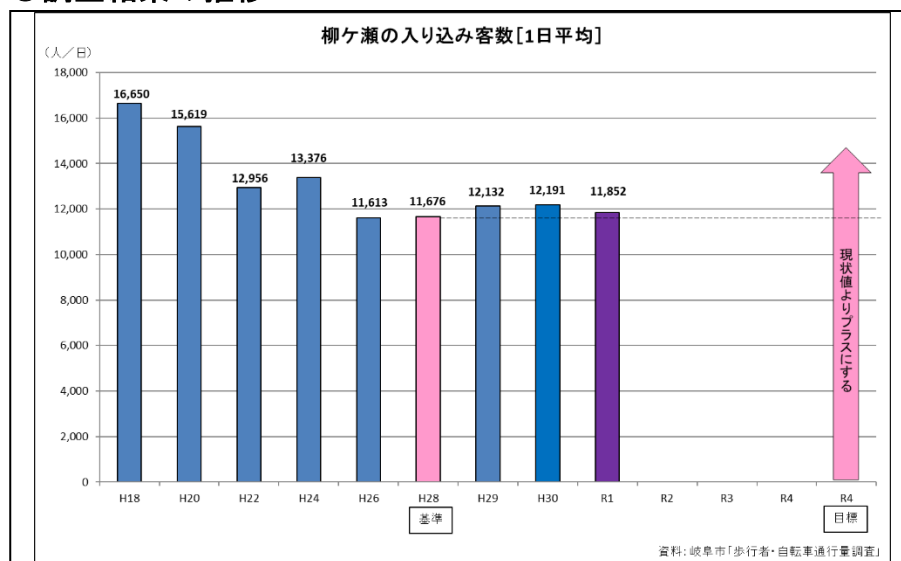
け、事業計画の進捗状況の確認及び助言を関係機関と連携して行うとともに、まちづく

りの担い手を育成・創出し、まちの魅力となるコンテンツの創出により、さらなる来街

者の増加を図る。

「【補完】柳ヶ瀬の入り込み客数 [1日平均]」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 79 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H28	11,676 (基準年値)
H30	12,191
R1	11,852
R2	
R3	
R4	
R4	現状値より プラスにする (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査を柳ヶ瀬地区の対象地点（10地点）において、平日1日・休日3日の10:00～19:00に実施。

※調査月：7月、8月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：柳ヶ瀬地区の10地点

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 不動産のリノベーション及び貸し出し事業（柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まちなかの遊休不動産と呼ばれる建物を事業者のニーズやコンテンツに合わせて改修（リノベーション）し、貸し出す事業。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち先導的・実証的事業（経済産業省）（令和元年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	空きビル再生のリノベーション事業「ロイヤル40」に続き、令和元年8月には老舗喫茶店をリノベーションした「サロン・ド・マルイチ」が完成し、3件の創業があった。 【サロン・ド・マルイチ】 （1・2階）飲食、レンタルスペース （3階）デザイン事務所 （4・5階）シェアハウス 令和2年度に実施する歩行者・自転車通行量調査にて効果を見込んでいる。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 735人/日

事業の今後について	令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローを行うとともに、まちづくりの担い手を育成・創出し、まちの魅力となるコンテンツの創出により、さらなる来街者の増加を図る。
-----------	---

②. サンデービルディングマーケット（岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会、柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	買い物客の創出、創業希望者の発掘を目的とした、手仕事(クラフト)の商品等を扱うお店を集めた定期イベントの開催。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	「サンデービルディングマーケット」を毎月第 3 日曜に開催しており、令和元年度は 11 回開催した。平均で約 150 店舗が出店、約 4,500 人が来場している。※新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年 3 月は中止 目標数値設定時に見込んだ事業効果 450 人/日
事業の今後について	引き続き事業を着実に進める。

③. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区公共施設整備事業）（岐阜市）

事業実施期間	平成 24 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高島屋南地区第一種市街地再開発事業により整備する建物内に、公共施設として子育て支援施設、健康・運動施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	○中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和元年度～令和 4 年度） ○社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（岐阜市中央部地区））（国土交通省）（令和元年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	高島屋南地区第一種市街地再開発事業に合わせ、公共施設を整備する。令和元年度から令和 2 年度にかけて実施設計を行う。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 460 人/日
事業の今後について	高島屋南地区第一種市街地再開発事業の進捗に合わせ、事業を進める。

④. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区第一種市街地再開発事業）（市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 24 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	岐阜高島屋に隣接する地区で、住宅供給と共に、商業施設及び公益的施設の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成 24 年度～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度組合設立、平成 30 年度工事着手、令和 4 年度完成予定。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 587 人／日
事業の今後について	完成に向け、事業を着実に進める。

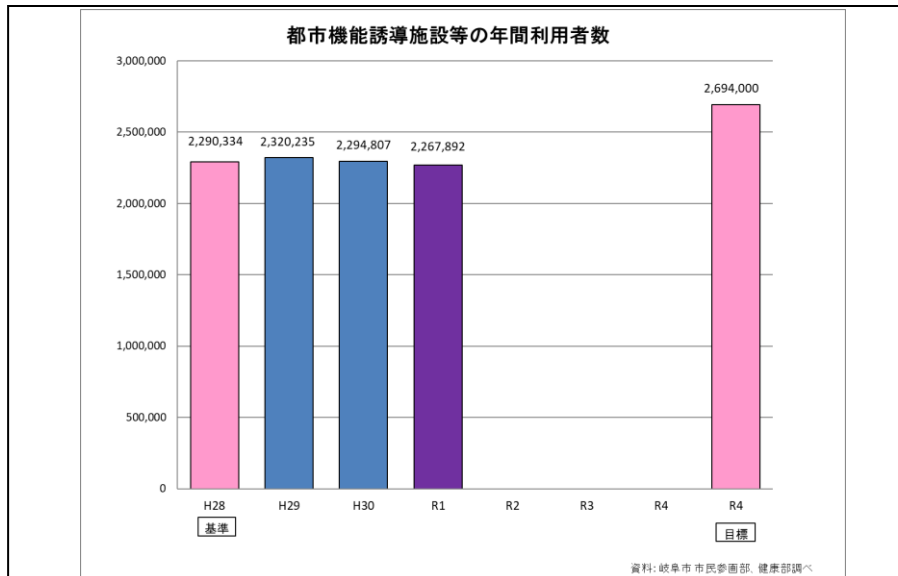
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 30 年度に工事を開始した「高島屋南地区整備事業」を着実に進める。

また、「柳ヶ瀬の広報戦略事業」として、柳ヶ瀬の魅力を若い世代に伝えるタブロイド誌「WE WANT.」を作成し、リノベーションスクールの事前レクチャー等で配布を行った。今後も柳ヶ瀬エリアのイメージアップを図る。加え、令和元年度に開催した「リノベーションスクール」のアフターフォローを行うとともに、まちづくりの担い手を育成・創出し、まちの魅力となるコンテンツの創出により、さらなる来街者の増加を図る。

「都市機能誘導施設等（公共施設）の年間利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画
P. 80～P. 83 参照

●調査結果の推移



年	(人／年)
H28	2,290,334 (基準年値)
H30	2,294,807
R1	2,267,892
R2	
R3	
R4	
R4	2,694,000 (目標値)

※調査方法：つかさのまち（みんなの森 ぎふメディアコスモス、新庁舎）及び高島屋南地区公共施設の年間利用者数を集計

※調査月：3月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：みんなの森 ぎふメディアコスモス、新庁舎（完成前は現庁舎の想定値）
及び高島屋南地区公共施設（完成前は岐阜市柳ヶ瀬健康ステーション）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新庁舎建設事業（岐阜市）

事業実施期間	平成27年度～令和2年度【実施中】
事業概要	「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の南側に、新庁舎及び公共駐車場を備えた立体駐車場を建設する。
国の支援措置名及び支援期間	○中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和元年度～令和2年度） ○防災・安全交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（平成29年度～令和2年度） ○社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（岐阜市中央部地区））（国土交通省）（令和2年度） ○防災・安全交付金（防災・省エネまちづくり緊急促進事業）（国土交通省）（平成29年度～令和2年度） ○環境・ストック活用補助金（サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型））（環境省）（平成30年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	平成30年度新庁舎本体工事着手、立体駐車場工事契約締結、令和2年度完成予定。

	目標数値設定時に見込んだ事業効果 1,000,000 人／年
事業の今後について	完成に向け、事業を着実に進める。

②. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区公共施設整備事業）（岐阜市）

事業実施期間	平成 24 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高島屋南地区第一種市街地再開発事業により整備する建物内に、公共施設として子育て支援施設、健康・運動施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	○中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和元年度～令和 4 年度） ○社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（岐阜市中央部地区））（国土交通省）（令和元年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	高島屋南地区第一種市街地再開発事業に合わせ、公共施設を整備する。令和元年度から令和 2 年度にかけて実施設計を行う。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 138,000 人／年
事業の今後について	高島屋南地区第一種市街地再開発事業の進捗に合わせ、事業を進める。

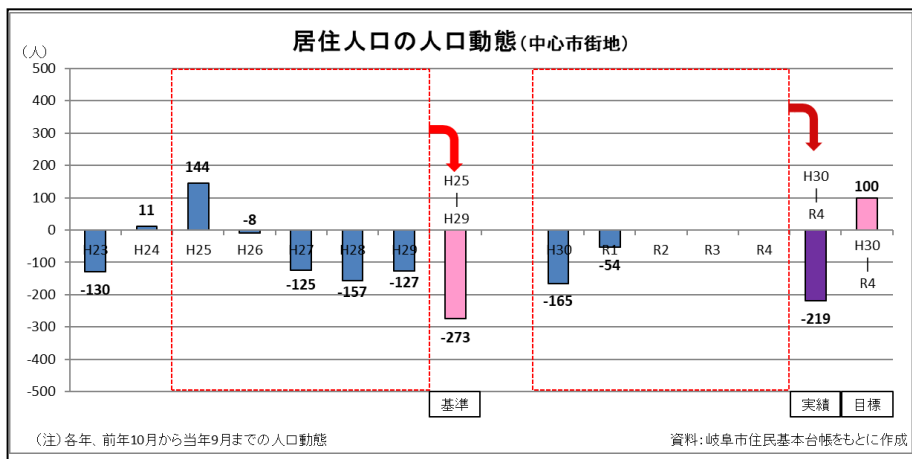
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標達成は可能と見込んでいる。

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の年間来館者数は堅調であり、今後「新庁舎建設事業」との相乗効果、及び「高島屋南地区整備事業」の完成に向け、事業を着実に進める。

「居住人口の人口動態（中心市街地）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 89 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H25- H29	△273 (基準年値)
H30	△165
R1	△54
R2	
R3	
R4	
H30- R4	△219 (実績値)
H30- R4	100 (目標値)

※調査方法：岐阜市「住民基本台帳人口」を調査

※調査月：前年10月～当年9月までの1年間

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高島屋南地区整備事業（高島屋南地区第一種市街地再開発事業）（市街地再開発組合）

事業実施期間	平成24年度～令和4年度【実施中】
事業概要	岐阜高島屋に隣接する地区で、住宅供給と共に、商業施設及び公益的施設の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成24年度～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	平成26年度組合設立、平成30年度工事着手、令和4年度完成予定。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 529人/日
事業の今後について	完成に向け、事業を着実に進める。

②. 岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業（市街地再開発組合）

事業実施期間	平成25年度～平成30年度【済】
事業概要	JR岐阜駅と名鉄岐阜駅の中間の交通利便性を活かし、商業施設や住宅とともに福祉施設の整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省） （平成25年度～平成30年度）
事業効果及び進捗状況	平成26年度組合設立、平成27年度工事着手、平成31年1月完成。分譲12戸完売。

	目標数値設定時に見込んだ事業効果 261 人／日
事業の今後について	事業が完成したため終了。 1～2 階に商業施設、3～15 階に福祉施設、16～24 階に 106 戸（分譲 12 戸）の住宅が入居する施設であり、まちの活力となる居住者の確保が期待される。

③. ライオンズ岐阜マークスフォート整備事業（(株) 大京）

事業実施期間	平成 29 年度～平成 30 年度【済】 [認定基本計画：平成 29 年度～令和 2 年度]
事業概要	中心市街地において、分譲共同住宅（ファミリー向け）を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度工事着手、平成 31 年 3 月完成。分譲 52 戸完売。 目標数値設定時に見込んだ事業効果 89 人
事業の今後について	事業が完成したため終了。 住宅供給による、まちの活力となる居住者の確保が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

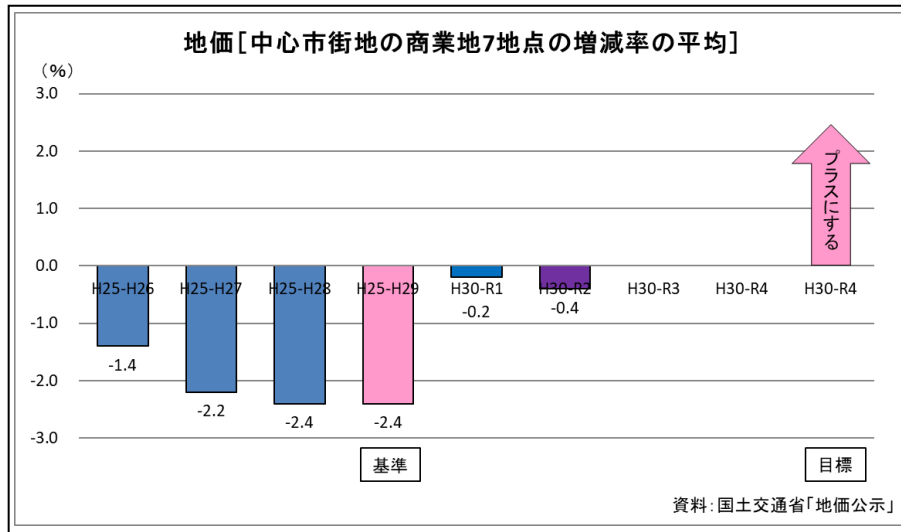
「まちなか居住支援事業」では、助成制度が民間マンションの広報媒体に掲載されるなど、事業の周知が進んでいる。また、「ぎふし子育て応援アプリ運営事業」では、子育てに役立つ情報や中心市街地に立地する施設などの様々なイベント情報をスマートフォンアプリで配信している。

今後も平成 30 年度に子育て世帯に対する助成額の拡充等を行った「まちなか居住支援事業」の利用促進に努めるとともに、平成 30 年度に工事を開始した「高島屋南地区整備事業」を着実に進める。

また、新たに 4 件（計約 330 戸）の民間マンションが中活計画期間中に建設される予定であり、中心市街地への民間投資が活発になってきていることから、目標達成は可能と見込む。

「【補完】地価 [中心市街地の商業地7地点の増減率の平均]」 ※目標設定の考え方認定
基本計画 P. 90~P. 91 参照

●調査結果の推移



年	(%)
H25- H29	△2.4 (基準年値)
H30- R1	△0.2
H30- R2	△0.4
H30- R3	
H30- R4	
H30- R4	プラスにする (目標値)

※調査方法：国土交通省「地価公示」から調査

※調査月：3月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地の商業地7地点（柳ヶ瀬通、高野町、金園町、吉野町、今小町、金町、若宮町）

●目標達成の見通し及び今後の対策

今後も、引き続き各種施策の実施により、民間投資を誘発するよう努める。